

第35回高知糖尿病チーム医療研修会のご案内

謹啓 時下、皆様方におかれましては、益々ご健勝でご活躍のこととお慶び申し上げます。

第35回高知糖尿病チーム医療研修会をご案内致します。

今回の教育講演は、徳島大学 糖尿病臨床・研究開発センター センター長・特任教授 松久 宗英 先生から「糖尿病克服へ地域をあげてチームで挑む」、また、高知大学医学部附属病院 栄養管理部 副部長 伊與木 美保 先生から「糖尿病患者の間食を考える～恋しく切ないスイーツとの付き合い方～」と題してご講演いただきます。

シンポジウムでは、県内各施設で糖尿病療養指導にご活躍の先生方の口述発表と総合討論を予定しております。糖尿病治療、指導に興味をお持ちの医師、歯科医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、管理栄養士、栄養士、保健師、理学療法士、歯科衛生士等多数のご参加をお待ちしております。

尚、本研修会は、日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修会として<第2群>(糖尿病療養指導研修単位)1単位を申請中です。

謹 白

第35回高知糖尿病チーム医療研修会
幹事 高知医療センター 菅野 尚

記

日 時：平成28年7月3日（日） 13:00～17:00

場 所：高知市文化プラザ かるぽーと 大ホール

対 象：医師、歯科医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、管理栄養士、
栄養士、保健師、理学療法士、歯科衛生士、その他医療スタッフ

【講師プロフィール及び講演要旨】



「糖尿病克服へ地域をあげてチームで挑む」

松久 宗英 先生(徳島大学糖尿病臨床・研究開発センター センター長・特任教授)

徳島県は糖尿病死亡率のワーストワンが平成5年から長らく続いてきました。このため、糖尿病の克服は地域の悲願でした。糖尿病専門医、かかりつけ医、看護師、管理栄養士など医療現場のスタッフはもとより、行政、保険者そして大学をあげた糖尿病対策チームが中心となり、食事療法、運動療法、人材育成、医療連携にわたる多角的な糖尿病対策を進めてきました。その結果、少し良い兆しも出てきました。しかしながら、減ることのない重症合併症患者や超高齢化社会における高齢患者への対策など、次々に地域特有課題が降りかかってくる。途半ばの我々の火消し事業を提示し、皆さんの地域での糖尿病対策の一助になればと思います。



「糖尿病患者の間食を考える」 ～恋しく切ないスイーツとの付き合い方～

伊與木 美保 先生(高知大学医学部附属病院 栄養管理部 副部長)

日本における糖尿病患者数は、年々増加の一途を辿り、社会的ならびに医療経済上大変重要な問題となっています。増加の要因の一つに糖尿病患者さんの間食習慣による血糖コントロール悪化が挙げられます。糖尿病療養指導の役割を担う私たち管理栄養士は、患者さんの甘い物に対する欲求や依存を全面禁止するのではなく、理性的な間食に導くことが必要であると考えます。

昨年12月、日本食品標準成分表2015年版(七訂)が改定されましたが、分冊された炭水化物成分表では、食品中の利用可能炭水化物量をより詳細に記載しています。

日常の栄養指導の中で、患者さんが炭水化物を把握するための指導に活用しておりますので、併せてご紹介いたします。

【プログラム】

12:00～ 受付

13:00～ 13:05 開会挨拶

第35回研修会幹事 菅野 尚 先生(高知医療センター 糖尿病・内分泌内科)

13:05～ 14:00

教育講演1 司 会 菅野 尚 先生(高知医療センター 糖尿病・内分泌内科)
「糖尿病克服へ地域をあげてチームで挑む」

演 者 松久 宗英 先生(徳島大学糖尿病臨床・研究開発センター センター長・特任教授)

14:00～ 15:00

シンポジウム「糖尿病療養指導の現状と実際」
司 会 段松 雅弘 先生(高知医療センター 薬剤師)
平野 世紀 先生(高知大学医学部 内分泌代謝・腎臓内科学 医師)

- ① 藤村 仁志 先生(ブルークロス佐川薬局 薬剤師)
「高齢者における糖尿病治療とDPP-4阻害薬」
- ② 高野 静香 先生(高知赤十字病院 検査技師)
「糖尿病神経障害スクリーニング ～神経伝導検査でわかること～」
- ③ 佐賀 啓子 先生(高知医療センター 管理栄養士)
「糖尿病透析予防チームの取り組みについて」
- ④ 橋詰 美智代 先生(いずみの病院 看護師)
「院内での主な活動 ー糖尿病看護認定看護師としてー」
- ⑤ 宮崎 和 先生(細木病院 理学療法士)
「糖尿病教育入院後の運動に対する行動変容ステージの追跡調査」

15:00～ 15:05 休憩

15:05～ 15:30 ポスターセッション(上記シンポジウムをポスターにて質疑応答)

15:30～ 16:00 総合討論

16:00～ 16:10 糖尿病寸劇 「間食がやめられません」 劇団TAKASU

16:10～ 16:55

教育講演2 司 会 鈴木 千栄子 先生(高知高須病院 栄養部)
「糖尿病患者の間食を考える」～恋しく切ないスイーツとの付き合い方～
演 者 伊與木 美保 先生
(高知大学医学部附属病院 栄養管理部 副部長)

16:55～ 17:00 閉会挨拶

第35回研修会幹事 菅野 尚 先生(高知医療センター 糖尿病・内分泌内科)

参加申込書

高知糖尿病チーム医療研修会 事務局

〒781-5103 高知市大津乙2705-1

高知高須病院 栄養部

TEL 088-878-3377

FAX 088-878-3322

Email:dm-takasu@takasuhp.or.jp

※ この用紙に同一施設・複数名で、ご記名願います。

歯科医師会会員の先生方へ

ご出席の際には、日歯生涯研修事業ICカードを必ずご持参ください。

ICカードを忘れると、研修会の研修単位登録は自己申告で行うこととなります。

ご施設名： _____

ご施設名住所： 〒 _____

電話番号：(_____) - _____

- | | | | |
|------------|-------|-----|-------|
| 1. 申込み代表者名 | _____ | ご職種 | _____ |
| 2. ご芳名 | _____ | ご職種 | _____ |
| 3. ご芳名 | _____ | ご職種 | _____ |
| 4. ご芳名 | _____ | ご職種 | _____ |
| 5. ご芳名 | _____ | ご職種 | _____ |
| 6. ご芳名 | _____ | ご職種 | _____ |
| 7. ご芳名 | _____ | ご職種 | _____ |
| 8. ご芳名 | _____ | ご職種 | _____ |
| 9. ご芳名 | _____ | ご職種 | _____ |
| 10. ご芳名 | _____ | ご職種 | _____ |

講師の先生にお聞きしたい点、ご質問がありましたら事前にご記入ください。

足りない場合、用紙をコピーしてご記入の上、FAX してください。

【その他の連絡事項】

1. 参加費 お一人様 1,000円を受付にて申し受けます。
2. 参加申し込み方法 住所・氏名・施設名・職種・電話番号を記入の上、FAX又はE-mailにて申し込み願います。
3. 参加申込先 〒781-5103 高知市大津乙2705-1 高知高須病院 栄養部

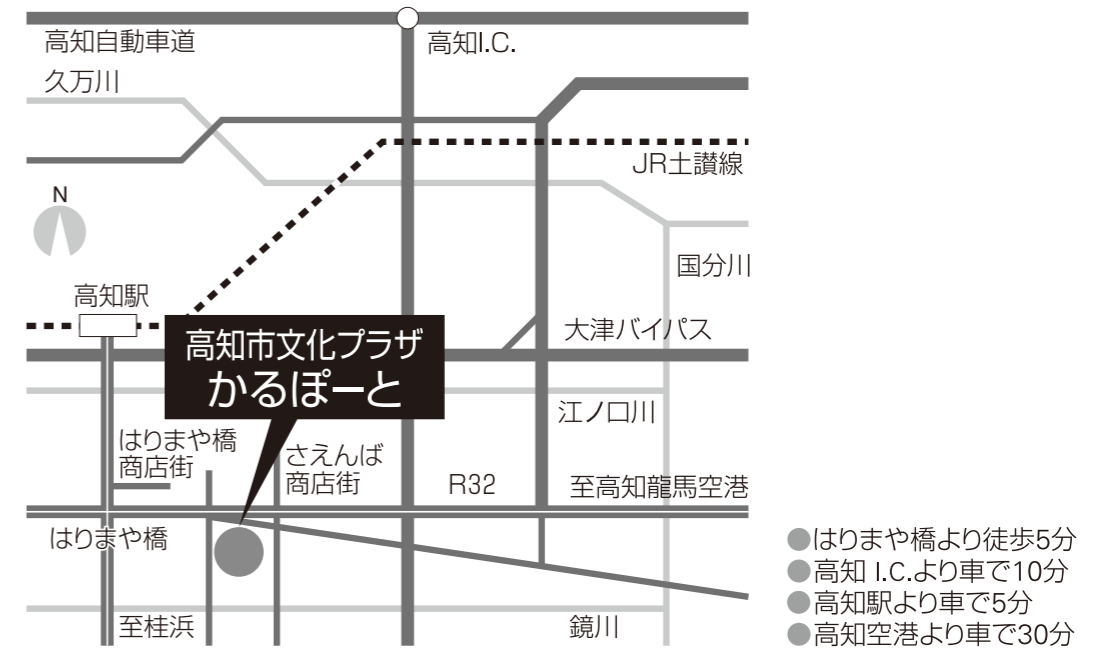
Fax 088-878-3322

TEL 088-878-3377

Email:dm-takasu@takasuhp.or.jp

4. 申込締切日 平成28年6月17日(金)
5. 当セミナーは、下記の研修認定単位を取得することができます。
 - ・日本医師会生涯教育講座(3.5単位)
 - ・日本薬剤師研修センター 認定単位(2単位)
 - ・日本病院薬剤師会生涯研修制度(2単位)
 - ・日本臨床衛生検査技師会履修点数(基礎-20点)
 - ・日本栄養士会 生涯教育(1単位)
 - ・日本歯科医師会 生涯研修制度単位認定(4単位)
 - ・日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修<第2群> 1単位
 - ・日本糖尿病協会登録医・療養指導医制度のための講習会
 - ・日本糖尿病協会 歯科医師登録医のための講習会
 - ・高知県糖尿病療養指導士単位認定(4単位)
 - ・日病薬病院薬学認定薬剤師制度(2単位)

6. 会場案内図



共催：高知糖尿病チーム医療研修会
高知県糖尿病対策推進会議
高知県医師会
高知県糖尿病療養指導士会
バイエル薬品株式会社

第一三共株式会社
公益社団法人高知県栄養士会
公益社団法人高知県薬剤師会
高知県病院薬剤師会

後援：公益社団法人高知県看護協会
(社)高知県臨床検査技師会
公益社団法人高知県理学療法士協会
高知県歯科医師会